

ATAMACADEMY
基礎課題

男女のかき分け

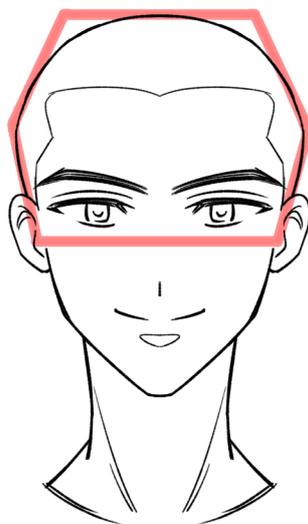


男女の描き分け

■ 顔の形、線画の違いを意識する

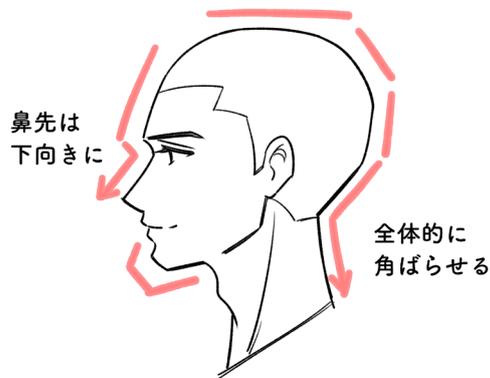
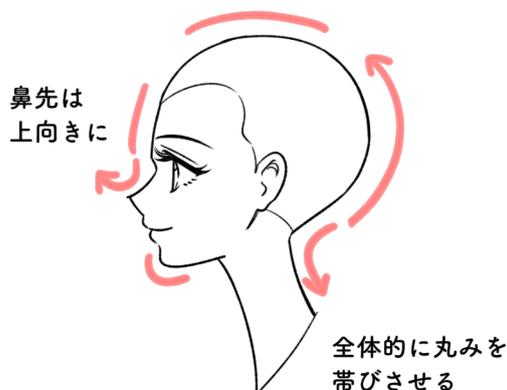
同じ人間でも、女性と男性で意識して描き分けることで、より女性らしい・男性らしいキャラクターを描くことができます。

まずは顔の輪郭(りんかく)の違いから見ていきます。



女性の頭部は少し子供の頭部と似ていて丸みを帯びています。子供より少し楕円形に細長くすると違いが出てきます。

一方男性の場合、少し角張ったような形をイメージして描くことで、骨太な骨格を表現することができます。



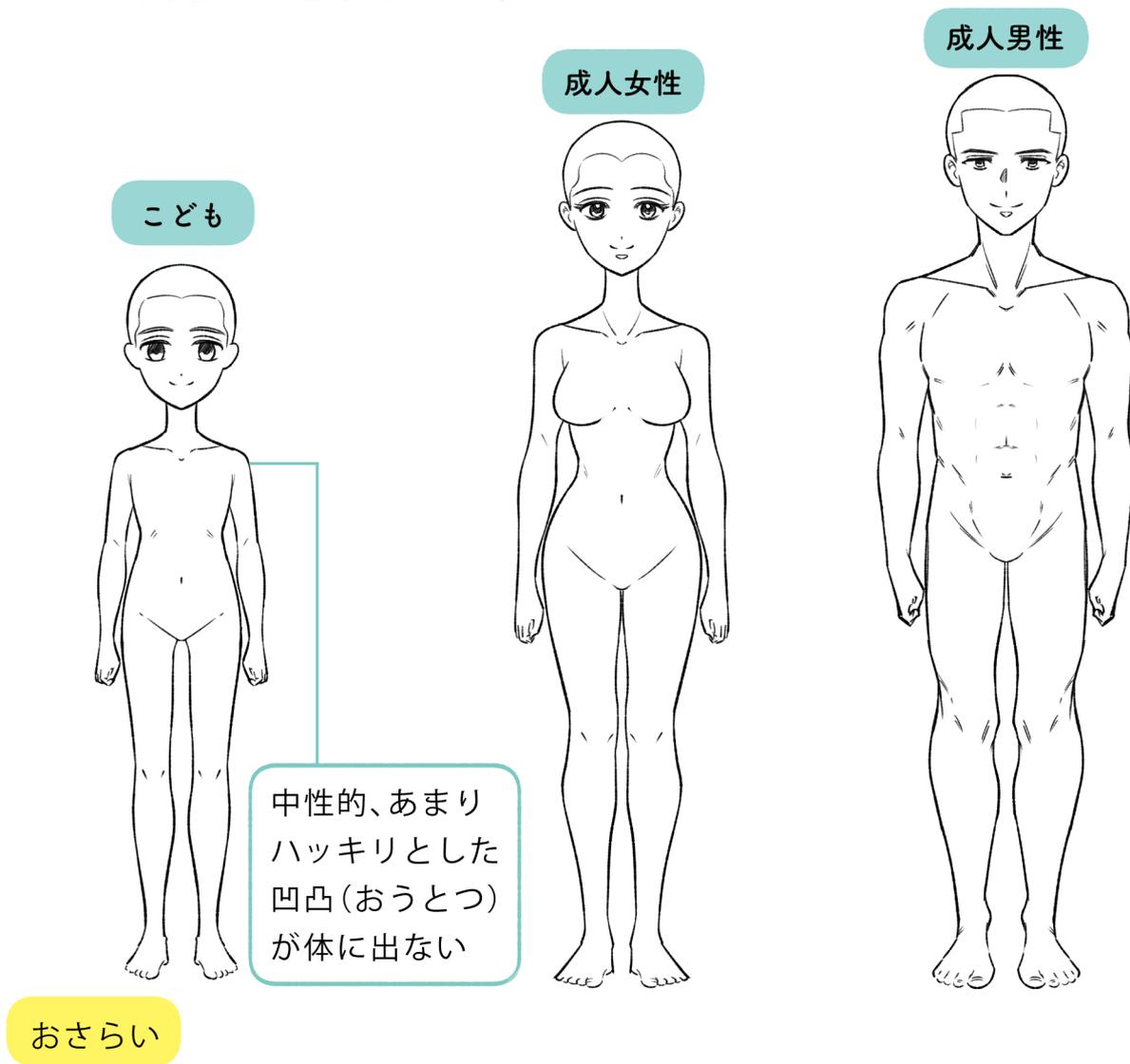
横顔も、鼻の形や唇の丸みなど、ツンととがっていたり曲線を意識すると女性らしくなります。男性は逆に、鼻筋など直線同士をつなげるように描くことがオススメです。特にアゴをがっしりさせるとより男性らしさが出ます。

男女の描き分け

■ 体の線の違い

また、体格や体の線においても女性と男性では色々な違いを見つけることができます。12歳ほどまでは中性的で、どちらとも取れるような柔らかいボディラインをしています。15歳ほどを境に人間の体というのはどんどん形が変わっていきます。

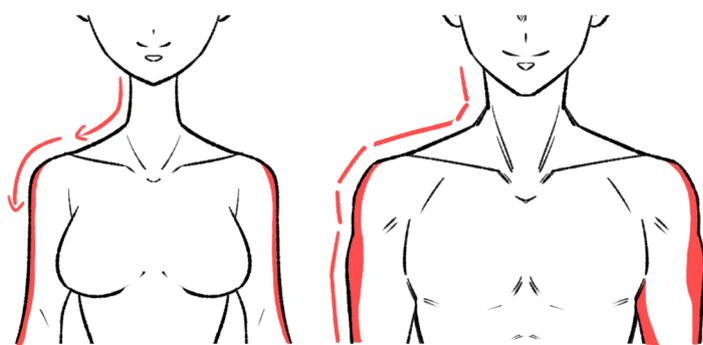
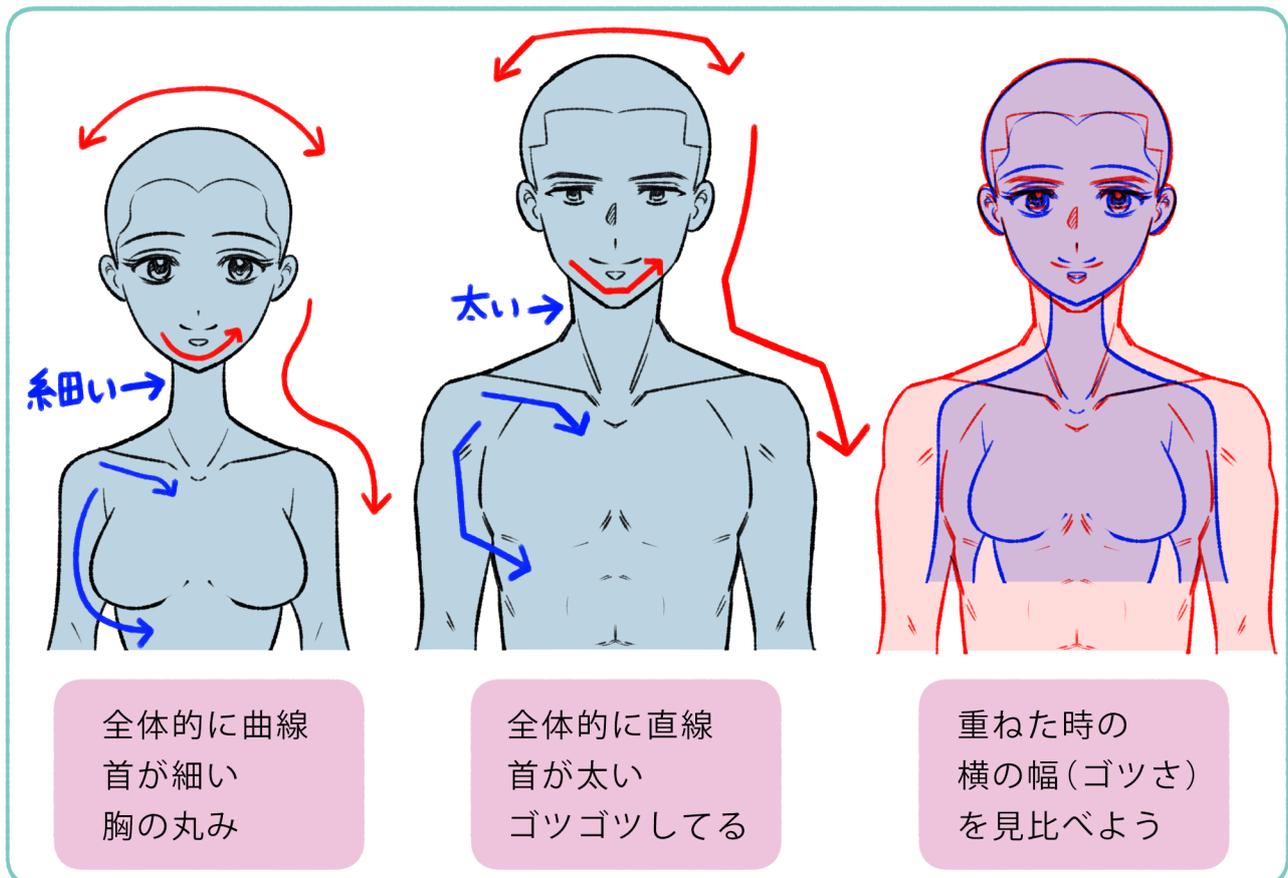
こういったポイントを意識することでそれぞれ男女の違いが出ていくのか見ていきましょう。



以前学んだ『人間を描く時の頭身』も思い出して意識して見てみましょう。

男女の描き分け

まず大きな違いとしての一つのポイントは『肩の大きさ・華奢(きゃしゃ)さ・ゴツさ』です。大人になると男性は骨が太くなって全体的に筋肉質になり、女性は肉付きが良くなって丸みを帯びた体になります。

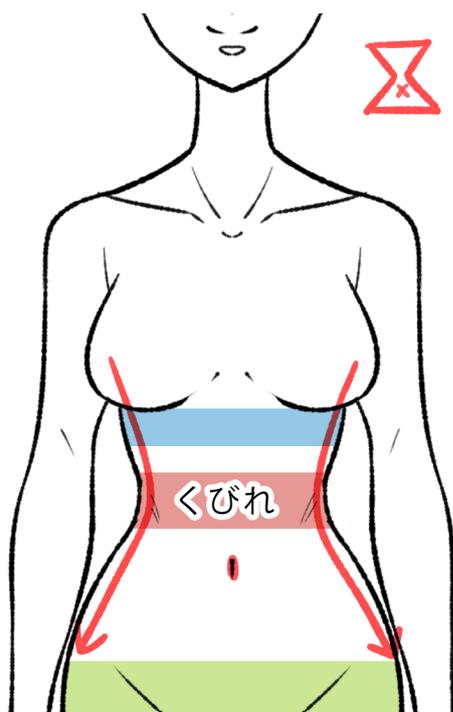


常に体の線(ボディライン)の違いを意識して、男女のキャラクターを描き分けてみましょう。

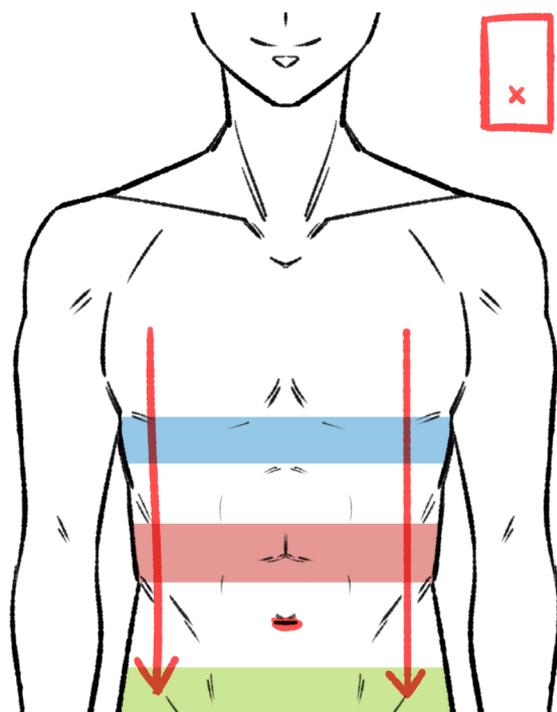
また、肩から二の腕にかけての筋肉の付き方もだいぶ異なります。男性の方が腕の筋肉は発達しやすいので、少し膨らみを持たせて描くとより筋肉質な男性の腕を表現することができます。

男女の描き分け

二つ目のポイントは『お腹のくびれ』です。女性はウエストにくびれと言っていわゆる引き締まった部分が表れます。一方男性は筋肉がお腹にもつくのでくびれが少なく、胸から腰にかけての太さがほぼ同じです。

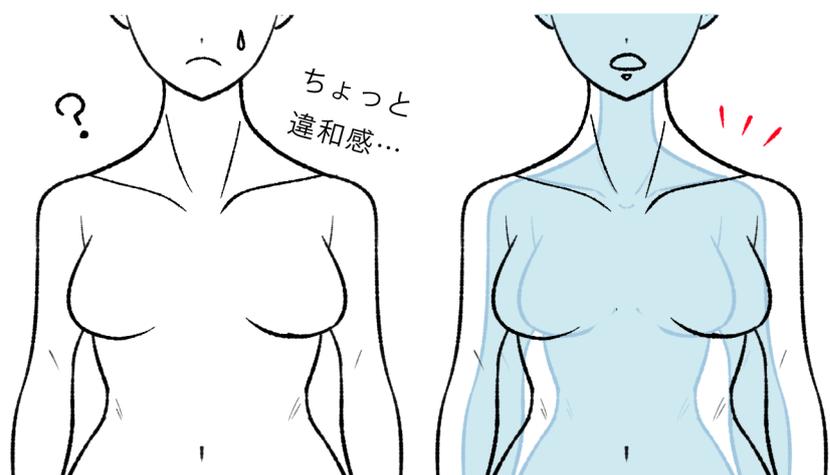


基本的に、くびれの部分が一番せまくなり、足の付け根（おしり）が一番広がります。



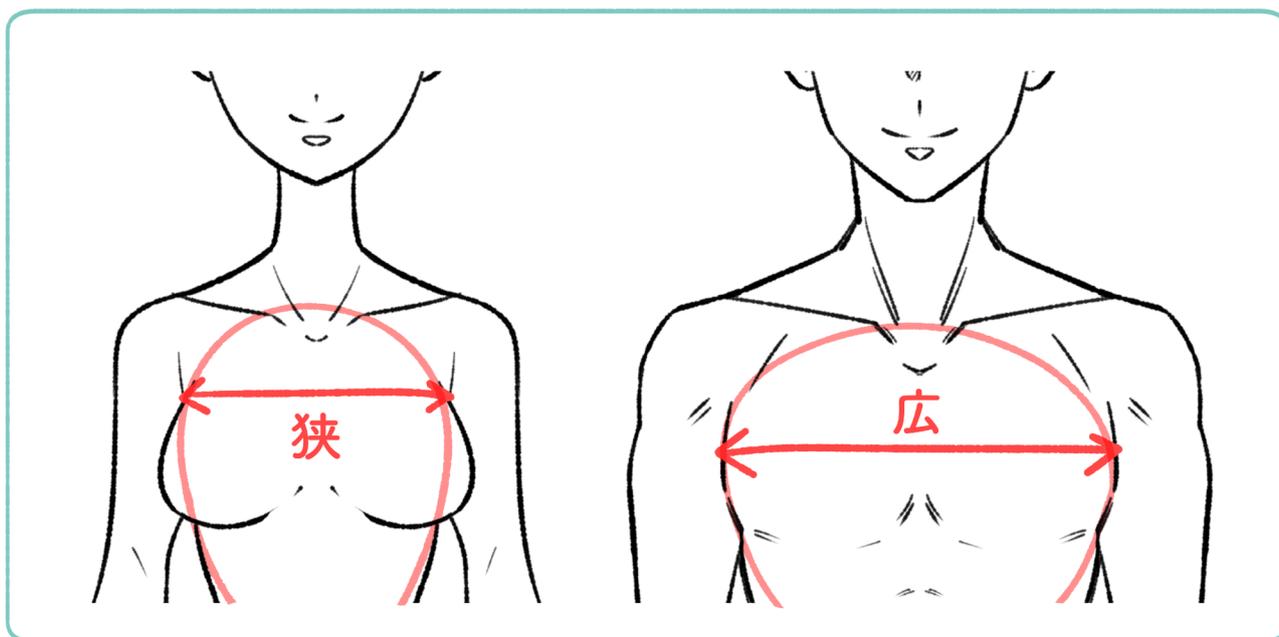
女性と比べてほとんどくびれがなく、まっすぐ足の付け根まで直線的になります。

肩幅と同じように、胴体そのものの広さも男女で異なります。男女の描き分けは特に肩幅に注意しましょう。



男女の描き分け

三つ目のポイントは『胸の幅』です。基本的に女性は胸の幅がせまめで、乳房がついている以外は肉付きも薄めに描くと華奢(きゃしゃ)でより柔らかな印象を表現することができます。



女性は胸からすぐ下にくびれがあるので、そのまま線をつなげて曲線的なラインを作るのがおすすめです。

一方男性は胸部の幅を大きくとることで胸筋が強調され、男性らしい見た目にすることができます。

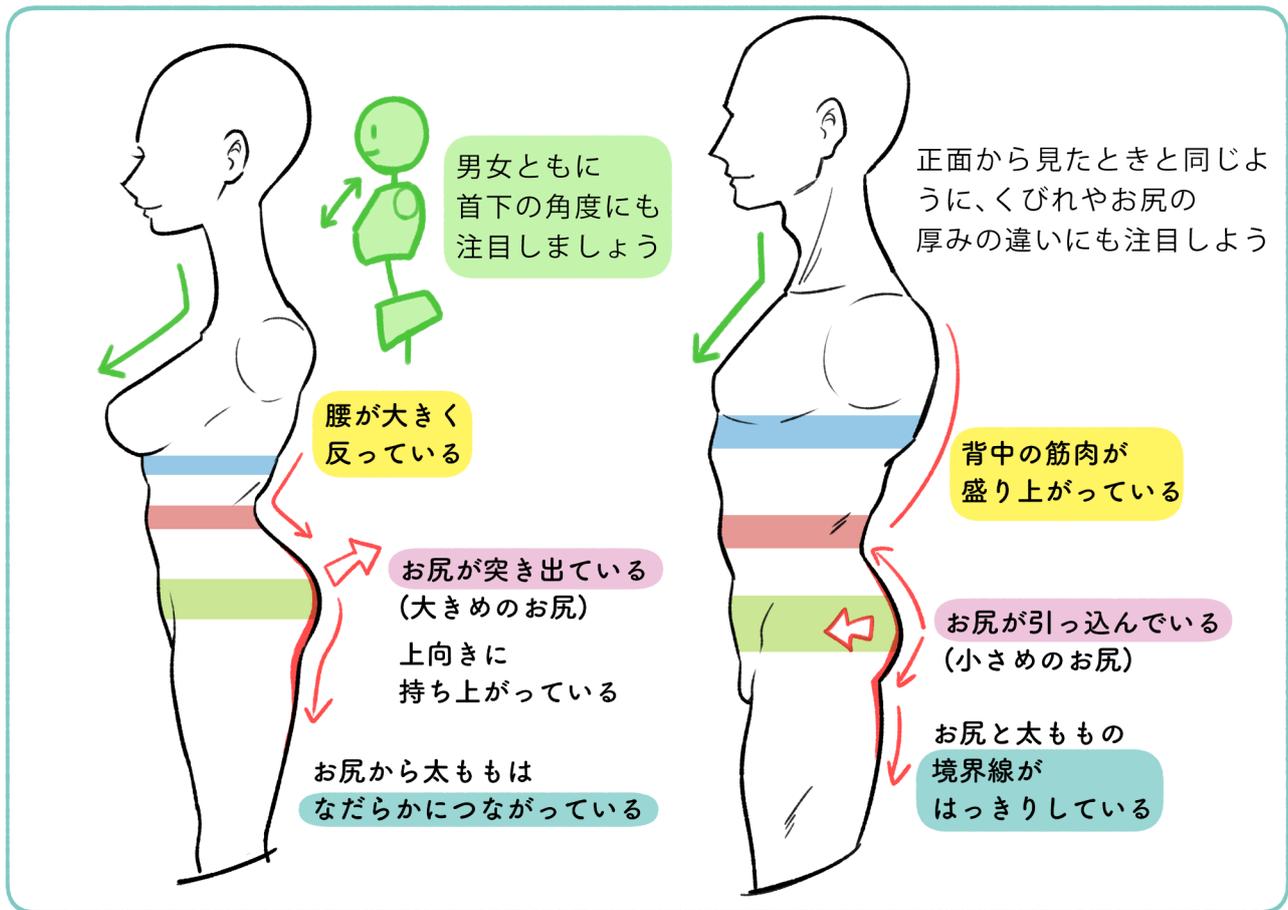
最後のポイントは『お尻の大きさ・薄さ』です。

女性の体でもっとも柔らかい部分の1つがお尻です。大きさはキャラクターに合わせて決めて問題ありませんが、太ももに繋がるようにして丸くゆるやかに描いてあげるのがコツになります。

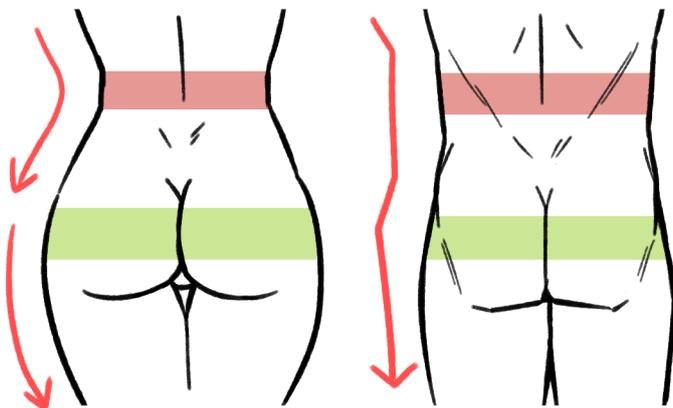
また、太ももの付け根とつながっているなので、なだらかに一体化させると上手く描きやすいです。

実際にイラストを見ながら確認してみましょう。

男女の描き分け



男性の場合、お尻はキュッと引き締まっていて硬く、女性に比べて小さいことが多いです。あまり大きく描かず、引っ込んでいることがわかる『えくぼ』を描いたり、太ももとの境界線もしっかり強調されているとより男性らしくなります。



これまでの男女の描き分けのコツをまとめると、女性は『柔らかい曲線ですべてつながっているように描く』、『男性は直線的でカチッとしっかりした線で描く』ことを意識することです。ぜひ挑戦してみてくださいね。